

経済産業省委託事業
医療情報システムにおける相互運用性の実証事業(平成17年度～平成19年度)
成果発表会 開催のご案内

— 医療情報システムの相互運用性の向上を目指して —

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

医療の情報化について、患者ニーズの多様化、医療の高度化・専門化等が進む中で、患者本位で、より質が高く効率的な医療サービスを提供するための医療情報システムの整備が課題となっています。

そのため、経済産業省は、医療機関が望む最適なシステム環境を構築できるよう、異なるベンダーシステムの組み合わせであっても容易に相互運用が可能となることを目指して「医療情報システムにおける相互運用性の実証事業」を推進してまいりました。

このたび、平成17年度～平成19年度の3か年事業活動のまとめとして標記の成果発表会を開催いたします。本発表会では、実証プロジェクトの成果を可視的に見せしめて、相互運用性普及の方策、今後の展開などについてのパネルディスカッションを行います。また、ご来場の皆様からのご意見やご提言をいただくことで、今後の相互運用性向上・普及の推進に役立ててまいりたいと考えております。

つきましては、年度末のご多忙の折とは存じますが、医療情報関係者ならびに医療関係ベンダー各社等の一人も多くのご来場を賜りたく、本事業関係者一同心よりお待ちしております。

- 日 時 平成20年3月29日(土)
午後2時～5時(午後1時30分開場)
- 場 所 新霞ヶ関ビル 全社協・灘尾ホール(添付案内図ご参照)
TEL 03-3580-0988
- 内 容 プログラム(添付)ご参照
- 参加費 無料

平成20年3月吉日

経済産業省委託事業
医療情報システムにおける相互運用性の実証事業成果発表会
運営事務局 日本システムサイエンス株式会社
代表取締役社長 八幡 秀彌

(問合せ先: 03-3262-4311)

担当: 小林 彰 (kobayashi@nss-med.co.jp)

(添付案内図)

□ 全国社会福祉協議会 (全社協) 灘尾ホール 案内図



〒100-8980 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル LB階

□ 交通機関

- 地下鉄銀座線「虎ノ門駅」11番出口より徒歩5分
- 地下鉄千代田線／丸の内線／日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分

経済産業省委託事業

医療情報システムにおける相互運用性の実証事業（平成17年度～平成19年度）成果発表 － 相互運用性の向上を目指して－

プログラム

開催プログラム

- 14:00 開会
- 14:05 ご挨拶
経済産業省商務情報政策局 医療・福祉機器産業室
室長 渡辺弘美氏
- 14:15 発表 事業成果(3か年)の概要
東京大学大学院 医学系研究科医療情報経済学分野
教授 大江和彦氏（本事業相互運用性普及委員会委員長）
- 14:30 ビジュアルセッション 相互運用性事業成果の活用
- ・座長 東京大学大学院情報学環 准教授 山本隆一氏（本事業相互運用性普及委員会技術部会座長）
 - ・出演者 厚生労働省医政局研究開発振興課医療機器・情報室 係長 中安一幸氏
保健医療福祉情報システム工業会 相互運用性プロジェクト推進委員会 委員長 下邨雅一氏
その他 エキストラ

休憩

- 15:10 パネルディスカッション
- ・テーマ1 相互運用性の向上を目指して
 - ・テーマ2 今後の展開について
- ・コーディネータ 東京大学大学院情報学環 准教授 山本隆一氏
（本事業相互運用性普及委員会技術部会座長）
- ・パネリスト 東京大学大学院医学系研究科医療情報経済学分野 教授 大江和彦氏
（本事業相互運用性普及委員会委員長）
秋田大学病院医療情報部 教授 近藤克幸氏
筑波大学病院医療情報部 准教授 大原信氏
保健医療福祉情報システム工業会 標準化推進部長 篠田英範氏
保健医療福祉情報システム工業会 相互運用性プロジェクト推進委員会 委員長 下邨雅一氏
日本IHE協会 接続検証委員会 委員長 吉村仁氏
- 16:40 ご挨拶 厚生労働省医政局研究開発振興課医療機器・情報室 係長 中安一幸氏
- 17:00 閉会

※医療情報システムにおける相互運用性の実証事業ホームページ：<http://www.i-emr.jp/>

※プログラムは変更する場合があります。